

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【341】

2. 日 時：令和4年12月16日 10時00分～12時00分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
谷口技術参与、

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他4名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 副長 他6名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はあ。
0:00:02	規制庁チギラです。それでは島野原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリング、
0:00:11	の説明項目は、
0:00:15	挺進計算書、防波壁多重鋼管杭資料平均のコメント回答となります。
0:00:21	それでは、資料の確認と、本日のヒアリングの進め方について説明をお願いします。はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:00:30	まず資料ですけれども裁判をさせていただきます。ナンバー1、資料番号
0:00:37	N-Sに、
0:00:38	他 231 回 09、回答整理表でございます。12 月 13 日提出です。
0:00:45	資料ナンバー2。
0:00:47	N2 県 201104。
0:00:52	ナンバー3、NS2 県 201107。
0:00:57	こちらは 11 月 14 日に提出しているものでございます。
0:01:01	資料ナンバー4。
0:01:03	あ、失礼しましたナンバー4、資料番号、N-S2 歩 02708 回、13、補足説明資料、12 月 13 日提出済みのものでございます。
0:01:18	はい。はい。資料の方確認できました。
0:01:22	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:01:24	本日は多重鋼管式擁壁のコメント回答ということで、1 問 1 等でご回答させていただきたいと思えます。
0:01:32	それでは説明の方に入らせていただきます。
0:01:35	本社よろしく願いいたします。
0:01:39	中国電力の藤村です。
0:01:42	資料ナンバー1-1 ページをお願いします。
0:01:46	申し送り事項ナンバー113 のコメントであります、多重鋼管杭式溶液の構造成立性検討について、メール周辺の岩盤のせん断破壊領域と、
0:01:57	引張破壊領域の評価を示し、水平抵抗力に対して、
0:02:02	同領域が及ぼす影響を考慮した設計方針を説明することにつきまして、回答内容をご説明いたします。
0:02:09	また、
0:02:11	2 ページ目のナンバー115 のコメントにつきましても、同一箇所のご説明になりますので、あわせてご説明、ご説明をさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	治療ナンバー4 の 121 ページをお願いします。
0:02:30	121 ページでは、
0:02:32	防寒着し、鋼管杭周辺の岩盤の評価方法につきまして、既発注で追記しております。
0:02:39	公開部位周辺の岩盤につきましては、
0:02:42	局所安全係数分布のせん断及び引張破壊領域が連続しないことを確認することにより、
0:02:49	鋼管杭の水平支持力が確保されることを確認します。
0:02:53	鋼管杭の水平支持力を確認する地震動時刻につきましては、
0:02:58	岩盤上面における鋼管杭の曲げモーメントが周辺岩盤の水平支持力に影響すると想定されますことから、
0:03:06	鋼管杭の曲げ軸力系破壊に対する最大照査値の地震動時刻といたします。
0:03:13	122 ページをお願いします。
0:03:16	122 ページからは、岩盤の現位置引張試験による、
0:03:21	岩盤の引っ張り強度の設定についてお示しをしております。
0:03:25	引張強度の設定方法につきましては、保管場所及びアクセスルートの審査でご説明させていただいた内容と同様の内容となります。
0:03:35	130 ページをお願いします。
0:03:41	130 ページでは、引っ張り強度の設定についてお示しをしております。
0:03:47	現位置引張試験によりえられましたCM級及びCH級の黒色頁岩の引張強度、0.13 ニュートンパー平方ミリメートルを、
0:03:57	2 段面から 44 断面の鋼管ぐい周辺の岩盤の引っ張り強度に設定します。
0:04:03	また、設定の妥当性を 4 点、ポツで記載をしておりますが、
0:04:07	2 段面から 4 断面の交換周辺の岩盤は、
0:04:11	CMからCH級の凝灰岩、凝灰角礫岩。
0:04:15	頁岩と凝灰岩のゴソウ及び安山岩で、
0:04:19	ありまして、A種試験対象の同等の岩盤岩級でございます。
0:04:25	また、試験対象の黒色頁岩は、より層理が発達する層状岩盤で、
0:04:32	ありまして、
0:04:33	層理面に平行に薄く、剥げやすい性質を有するため、
0:04:37	鋼管杭に分布します。岩種に比べ、引張強度が低いと考えられますことなどから、現位置試験の光強度が適用可能と考えられます。
0:04:48	195 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:55	195 ページからは、岩盤の評価結果についてお示しをしております。
0:05:01	まず、鋼管杭の水平支持力を確認いたします。鋼管杭の曲げ軸力系破壊に対する照査における最大照査値の地震動、
0:05:11	の一覧を、下の表にお示ししております。
0:05:15	4 断面におきましては、197 ページの上の図にお示ししております通り、海側及び陸側に多重鋼管ぐいを 2 列配置しております、
0:05:25	地表面付近において、9 イトウ連結材で連結しておりますことから、
0:05:30	フクイ市場面付近で曲げモーメントが最大となっております。そのため 4 断面におきましては、岩盤上面において、鋼管杭に作用する曲げモーメントが最大となる時刻、
0:05:41	に対しまして、鋼管杭の水平支持力を確認します。
0:05:45	岩盤上面において鋼管杭に作用する曲げモーメントが最大となる時刻におけます断面力図を 197 ページの下の図にお示ししております。
0:05:55	198 ページをお願いします。
0:05:59	198 ページでは、鋼管杭の水平支持力の確認結果についてお示ししております。
0:06:07	鋼管杭周辺の岩盤の局所安全係数分布図を 199 ページから 201 ページにお示ししております。
0:06:16	2 断面から 44 断面における、鋼管杭周辺の岩盤におきましては、
0:06:21	鋼管杭の前面に、せん断強度及び引張強度に達した要素が局所的に認められますことから、
0:06:28	鋼管杭周辺の岩盤の滑り破壊の有無を確認するため、
0:06:32	せん断強度及び引張強度に達した要素を通る滑りの安全率を算定いたしました。
0:06:39	神戸周辺の岩盤のせん断強度及び引張強度に達した要素を通る滑りの安全率を算定しました結果、
0:06:47	滑り安全率は 3.05 から 11.71 であり、十分な裕度があることから、
0:06:53	鋼管杭の水平支持力が確保されることを確認しました。
0:06:57	ナンバー113 及びナンバー115 のコメント回答のご説明は以上となります。
0:07:05	はい。規制庁木田です。それでは、今の説明に対して確認する点がある方、お願いします。
0:07:14	規制庁の服部です。
0:07:16	介護のコメントナンバー113 については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:21	これ私が会合で発言したんですけれども、一応発言者私なんですが規制庁のコメントということで、
0:07:31	理解いただければと思いますただ、私が発言したので、私の1審査官としての
0:07:38	考えを少しだけ述べさせていただきます。
0:07:41	今回練る部分のところについては、引張破壊領域が広がっているということなので、
0:07:50	少し価格科学的合理性を判断する。
0:07:56	のが少し難しいのかなあというふうに今考えていますので、このコメントについては、ちょっともう少し考察を加えていただきたいと思いまして今回は継続とさせていただきますと思います。
0:08:07	具体的には、例えば省力増出したりだとか、どれぐらいの引張応力が出ていて、それに対して許容限界がどれぐらいなのかとか、
0:08:19	応力再配分とかいろいろな考えがあると思うんですけれども、もう少しいろいろな観点から、少し私今ちょっとそういう資料、
0:08:29	がないので、どういうふうに、これを、
0:08:33	評価するのかっていうのは、具体的には少しわからないんですが、いろいろな資料を、いろいろなものを出して、いろいろな項目を出して検証して、
0:08:44	もう少しこの引っ張りが出ていても、
0:08:47	指示支持性能には問題ないということの説明性の強化をしていただきたいと思っています。
0:08:57	ちょっと懸念してるのは、結局引っ張り強度に達した要素ってのはどうなるのかなということで、これは何なんだったという話を少しは、ちょっとむず、いろいろ、
0:09:09	頭ん中で考えてるんですけど、それはちょっとわからなくて、ただ、一方で、せん断滑りに対してはかなり余裕があるということで、
0:09:19	せん断については、あまり
0:09:22	問題にならないのかなと思っていますけれども
0:09:25	滑り安全率自体もあくまでも引張破壊してなければ、
0:09:32	していないという健全な状態での滑り強度なので、
0:09:37	そこら辺も含めて少しこれわあ、判断が難しいなということで継続とさせていただきますと考えています。
0:09:50	はい。中国電力の鹿島です。はい。今おっしゃられたって承知いたしました今回どういう応力状態になってるかとかですね、応力のレベルの程度感もちょっと資料の中に反映できておりませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:03	こちらについてですね、さらなる考察分析を加えたもので、きっぱりを発生した状態でどのような状態になってるかっていうところもあると思いますし、
0:10:13	アノ津アノ様、改めてですね、データを拡充させた上でご説明させていただきたいと思います。以上です。規制庁の服部です。はいわかりましたあともう1点ちょっと1点だけ確認させていただきたいんですが、
0:10:26	今回引張破壊に対する今日限界を求める試験をやっているということですよ。
0:10:33	平均的に0.13ニュートンを使ってるということで、
0:10:37	中には0.8、0.08かな、という下限値もあるということなんですけれど。
0:10:45	一般的に試験値の生値を、
0:10:49	限界値とする古藤はどうなのかなっていうのも少しあるんですが、
0:10:55	これってあれですよ
0:10:57	何だろう、長期とか短期とかそういう話になる等、
0:11:03	これではいけないのかなと思うんですが、
0:11:07	岩盤の支持力せ、支持支持力のところも、
0:11:11	極限、
0:11:13	やっていますので、これも極限でやるっていうことであれば、あまり、
0:11:21	これでも科学的合理性がか。
0:11:25	判断できるのかなという気もするし、
0:11:28	そこら辺も少し
0:11:30	判断に迷っているというところになります。それで、
0:11:34	ちょっと聞きたかったのは、
0:11:36	極限支持力、これを求める時の、これって、
0:11:42	試験、
0:11:44	最後、久野采華試験とかから求めてるんですけどっけどうぞ。
0:11:52	はい中国電力李です。今服部さんがおっしゃられたのが岩盤のですね支持力試験アノ原子力求める際の試験ということで理解しました。
0:12:03	こちらの平板裁可試験もしくはですね3号だったり強い力試験を行ってるんですけどもそういった試験によって極限支持力を求めております。以上です。
0:12:13	規制庁の服部ですはい。その時の考え方とあまり相違があってはいけないので、例えばそのときに、いろいろな極限支持力の
0:12:24	求める許容限界を求める試験から求めるときの考え方、
0:12:28	があると思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:30	それ。
0:12:31	その考え方との相違はそんなにないんですか例えば何かこう、試験でやったものに対して、たくさんあれば正規分布化させてとか、
0:12:44	そういうのもやってたりとか、あとは平均値を使ってるのかもしれないし、あとは下限値に2倍の安全率をかけてるとかそういう事例も他の新規性の高い、
0:12:56	協議会を求めるときにはやってたりもするんですけども、
0:13:02	そういうところを、その極限支持力を求めるときとの数、
0:13:07	大きな不整合はないと考えてよろしいですか。
0:13:13	はい。中国電力のユリです。ちょっと、ちょっとおっしゃってる意図と私の回答がちょっと合ってるかどうかわからないんですけども、
0:13:21	どちらかというところとちょっとすべ看板の滑り安全率を見るときはですね、引張強度に対応する強度というのはせん断強度ということで、
0:13:30	基本岩盤を、を対象にブロックせん断試験で求めるような試験だと理解しております。
0:13:36	その時は、基本出た試験を平均化してですね、
0:13:42	強度に対しては、藤一ワンシグマを見ることで、衛藤一ワンシグマで低減させても大丈夫かどうかという確認を行っております。
0:13:52	引張強度も今、と同じように、せん断強度と同じように平均物性を当てはめておりますけども、
0:13:59	これを一ワンシグマ低減させた場合にどうかというのを見る必要があるのかなと。
0:14:03	今のご指摘を踏まえて考えております。
0:14:07	と、あと、
0:14:08	それが
0:14:11	極限状態のものになってるんじゃないかということもコメントの中で言われてたと思いますけど、そちらはその安全率の評価基準値をですね、
0:14:20	1で見るとはなくてある程度裕度を持ったもので、
0:14:24	設定しておりますので、そういったところで、基本に対応するようなものが確認できているんじゃないかと思っております。以上です。
0:14:33	規制庁のハットリですはいわかりましたアノ。
0:14:36	例えば、支持力試験の場合は、例えば、支持力の場合は極限支持力に対して長期だと3倍掛けるのかな。
0:14:46	3倍では3で割るのかな。短気だと、その1.5倍するのかな。そんなことをしてるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:54	極限ということであれば、そのまま試験値を使えるのかなという気もするので、そこら辺でちょっと
0:15:03	極限を求めるときの考え方に不整合がなければ、今の考え方でいいのかと思っていますので、少しそこら辺も含めてですね、継続とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
0:15:21	はい中国電力ユリです。ご指摘の件承知いたしました。ちょっと1点確認させていただきたいんですけども。
0:15:29	羽鳥さんが先ほどおっしゃった中に応力再配分という言葉がございましたけども、
0:15:35	こちら側の視点としては、今出てる引張破壊を、静的線形解析みたいなことをやることで、さらに広がっていかないかという確認のことをおっしゃっているのでしょうか。すみません。お願いします。
0:15:49	規制庁の服部です。
0:15:51	今の今の先ほどの発言は、一つまだ全然ここ私は、我々規制ガーというか審査側は手元に何も、具体的、
0:16:03	実際に計算してるわけではないので、
0:16:07	例えば一つの例としていろんなことをちょっと挙げただけで、そうしなさいと言ってるわけではなくて、いろんな観点から、引張破壊がこれだけ生じていても、
0:16:18	支持性能には影響ないということを書いていただければという観点で言いましたので、
0:16:26	中国電力李です。はい承知いたしました。
0:16:31	規制庁のハツリですはいわかりました後、先ほど極限支持力の話を出したのはあくまでもこれは0であって、
0:16:39	極限の、その強限界を求めるときの考え方に不整合がないということだけ確認できればと思って聞いたということなので、別に極限支持力の考えかたに、
0:16:52	が2懸念があるとかそういう話ではないのでそこら辺を含むは、ちょっとご理解いただきたいと思います私から以上です。
0:17:02	はい中部電力入江です。承知いたしました検討して次回ご説明したいと思います。以上です。
0:17:09	規制庁の江崎です。多分ですね、今服部が言った中でやっていただきたいことは、多分滑り、
0:17:19	局所安定係数が出てそのあと滑り安全率を計算する上で、その引っ張り強度、引張破壊が起きたならば、どういう処理をしているのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:29	多分私は
0:17:33	許可の山頂から立ち会っているので理解はしているんですが、いわゆるあれですね滑り線に対して直行方向のええぞ効力はどれだけかかっているか。
0:17:45	ということで応力を計算した上でそこで、基本的には引っ張りがショウジュ、滑り線上でAの直交方向で引張破壊が、引張応力、
0:17:57	アオキていなければ、基本的には残留強度が発生するってことで計算してるんだと思います。
0:18:04	とかあと、引張と、
0:18:06	他のサイトでエミた例では、
0:18:09	引張破壊とせん断破壊の複合破壊だけでも、基本的に引張があればそれを優先してしまっただけの場合によっては、強度がゼロだということにもなりかねんなるので、
0:18:19	あまりそこに関してはあまり言及していないっていう話になってると思うんですね。
0:18:25	ただ、ここから私の、うん。そういったことのね、理解ができるような、多分許可でも、ちゃんと説明してあげてくださいと谷さんに説明してあげてくださいと言ったと思うんですけど、そういったやつはどこかで出てくるんですね。
0:18:40	違います。
0:18:41	そういう例で、許可でやっていたフローだとか考え方とかいうやつは、
0:18:46	それは何か出せ出した方がいいのかなともう1回再掲した方がいいのかなと思うんですがいかがですか。前から言ってると思うんですけど。
0:18:54	はい。中国電力の鹿島です。はい。今引張の処理の件、江崎さんおっしゃられた通り、失日レセに作用する直行力ですね州前の成果負荷ということで、引っ張りアノ傾向を見るか残留強度で見るかというところは、
0:19:09	判定をしております、審査の設置許可の中でもですねその判定のフローというのを示さしていただいておりますので、今回の資料にも、こちらの方再建させていただこうと思います。
0:19:20	以上です。規制庁の江崎です。多分ですね、局所安定係数を評価してるところって、多分この膨張だけじゃなくて、あっちこちの膨張程度やってるから、
0:19:31	もしあれであれば、図、すべてのものに載せるよりは、何かどこか上位文章で説明をできるならそうした方がいいかなとは思ってます。うん。
0:19:42	うん。何となく、何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:47	アクセスルートを使ってるよね。
0:19:50	ちょっとだったっけ、局所的使ってないか。
0:19:53	中国電力清水です確かそ、その案件は逆Tのときにも同じコメントをいただいて今資料化してると思いますのでおっしゃる通りいろんなところに出てくるとあれなので、上流側の文章どっかに入れてですね共通的に使えるようにちょっと考えてみたいと思います。以上です。
0:20:12	それでもってですねあと李が言ってるのは、使用料物載せることで、多分これって今、
0:20:19	例えば 199 ページ見ていただくと、
0:20:22	上の方で 125 度っていう産地があって、
0:20:28	引っ張り方向は 125 度から傾斜したところに、直交方向成分として出ているので、多分、
0:20:35	それに応じて多分滑り線は作ってるのかなと思っていてそうした場合は多分引っ張りが出て、引っ張りが出ているので、
0:20:43	強度はゼロになってるっていう理解してるんですがそれで正しいですか。
0:20:50	はい中国電力李です。今江崎さんおっしゃった通りです 125 度のところに引っ張り芽が出ておりますのでこの方向に強度が 0 になるように滑り面としております。なので
0:21:04	黄色でハッチしてるところの強度は 0 になっていると理解しております。以上です。
0:21:11	うん。
0:21:12	だから、
0:21:15	これがね、今言ったようなことがわかるような、収録だとかそういうのをまず提示してくださいっていう話だと思いますんで、それは多分、
0:21:25	うん。うん。
0:21:27	次回説明いただける。
0:21:29	していただける用意を準備をしていただければと思います。
0:21:34	はい中国電力李です。はい。こちらの聴講力の引っ張りとなる方向でございましたようにそれは省力ずお出しするようにいたしますし、今おっしゃったような安全率の算定フローに当たりますところはですねよくCVの説明をした時にもそういったフローおつけしておりますので、
0:21:52	そういったところをわかりやすい上流側のところにですね、
0:21:55	資料化した上でご説明したいと思います。以上です。
0:22:00	規制庁の江崎です。了解しました。そのあとの、多分その支持力、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:07	ていうと、鉛直主力うと思うけど、そのつもりでオク今これから発言をするつもりはなくて、この滑り線としてのね、いわゆる、
0:22:17	滑り安定じゃないんだよねこれね、基本的にはその側方側の支持力っていうことを、ある意味その出てきたものを、数字を滑り線、
0:22:27	評価して攻め方で評価してるっていうだけにしかすぎなくて、そうしたときに考えたときに、その
0:22:35	実際の引っ張り強度とかそういったもの自体は $-\sigma$ とか下げて評価するっていう方法がありますと。
0:22:43	それに対して安全率を、ここは膨張でなんで、
0:22:49	1.2 ですよ、安全率は滑り線と使った場合は、
0:22:52	その木内の 2 割余裕町の中で、その安全余裕を見て、いわゆる下限値ではないけど、そういう扱いになってるんだらうという今までの、その方からするとね、そういったときに、これマイナス σ ってやってるんですけど。
0:23:07	そすと答弁でちょっと話でちょっと来逆に気になり出しちゃったんだけど、
0:23:15	中国電力の藤村です。今お示しております、滑り安全率につきましては、平均の強度の物性値、
0:23:22	となっております。ばらつきについてはお示しを、現在はしてございません。以上です。中国電力として尋ねますけど、2 点尋ねますけど、としてね、考えたときに、
0:23:33	中国電力としては、 $-\sigma$ 。
0:23:37	1、標準偏差を引いたやつって、
0:23:40	やらなくてもよかったんですけど。
0:23:42	ていうことなんだけど、その辺はどうなんすかね基礎の基礎地盤の安定性でやってますよね。
0:23:48	設置許可では、あと斜面でもそうしたときどう考えるんですかっていう話なんだけどさっきの、
0:23:56	要は現地試験とか、これはサンプリングした結果だったりも入ってるんでしょうけど、それを使ったときの、その条件として設計条件で使うときの安全いうマージンとしてはマイナス 1σ があります。
0:24:10	確かにそれに対して安全率 1.0 じゃなくて、
0:24:14	しかも 2 割をいう原子力が持ってるから、
0:24:16	かなり余裕を持ってるというふうに解釈できるんだけど、この辺はどう考えられてます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:22	この読書安定係数に関しては 1.0 でいいんですけどね。うんそれ安全では、集計した時は 1、2 割ウヤなるんですけど、
0:24:33	中国電力の藤村です。
0:24:35	滑り安全率ズーの算定につきましては、ばらつきの強度もお示しするというのが、基本ではございますが、今回滑り安全率を算定しましたところ、1.2 の評価基準に比べまして、
0:24:49	かなり最初でも 3.05 と
0:24:53	裕度が大きい。
0:24:56	良いことを確認してございますので、ばらつきについては、今回は省略をしてお示しをさせていただいたところでございます。今回の考え方はわかりました。ただ、
0:25:09	必要ですよっていうとそれは必要性は認めますよね。
0:25:14	いかがですかまず、これからさ、ちょっと重たい話に入っていくんで、それも含めていくとちょっと。
0:25:20	私もコメントができが多くなってくるんですけど、いかがですかまずはやるべきことをやる必要があれば、やるっていうことは、今回は家を大きく余裕を持っていたがやらなかったって理由はわかります。
0:25:32	だけど、今後その検討は必要であれば必要ですよっていうことは理解してますよね。
0:25:41	はい中国電力李です。江崎さんおっしゃった通りでばらつきにつきましては必要だと思いますので、今後お付けしたいと思います。申し訳ございませんでした。以上です。
0:25:52	ね。それでね、幾つかあって、特に 4 点ぐらい、お話させて 4 ポイントあります。
0:26:02	まずね、
0:26:05	199 ページの②断面とか、特に、
0:26:09	次のページの 200 ページの③断面、
0:26:13	④断面はそれほどでもないんだけど、かなり引張破壊領域が広がっている。
0:26:18	ていうのが気になっていて、
0:26:20	しかもこの命令の部分ってせん断破壊、
0:26:25	もう結構しているところもあったりしているので、これをいわゆる応力再配分した検討を、
0:26:35	行ったらどれだけこの破壊領域が、
0:26:39	その広がりが起きますかっていうことで特に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	下部の方にね、進展してし
0:26:46	びくとも、うん。
0:26:49	ウォール解放したときの解放力の設定応力は下の方に向かっちゃう部分もあれば上の方に向かった部分もあって水平方向にあまり、
0:26:57	もう、成分が少なければ、
0:26:59	特にあまり大きな広がり示さないかもしれないんですけど、
0:27:04	下下方だけでね、下方に広がっていく分には特にあんまり問題はないと思うんですが、
0:27:11	いわゆる今、199 ページで言うと、
0:27:14	岩盤表面の方に水平方向に沿って、水平方向に広がりを示しちゃうと、ちょっと
0:27:22	苦しくなるなと思います。
0:27:24	なので、まず前から、一応、コメントを出してはいるんですけど、
0:27:30	あんまりその破壊領域が結構大きい場合に関しては、今まで設置許可でやっている斜面、または基礎地盤の安定性においては、
0:27:41	ほんのちょっとしかねえ、破壊領域が起きてないのは別だけど、
0:27:45	やるまでもなく、滑り面法で解決できるならいいんだけど、
0:27:49	そうではない、ある程度大きな広がりがある種、拡大するような懸念があるのであれば、それは多分静的線形って言われてる解析をやった上で、
0:28:00	破壊領域の拡大の有無をまず確認してください。
0:28:04	かなり拡大するのであればその下、拡大した破壊領域を基にして、滑り安定性を計算しないと、
0:28:14	かなりいい安全性が本当に確保できているのか、指針性が確保できるかっていうのが、
0:28:21	はっきりわからないですから、それはやっていただく必要があると思います。
0:28:25	特に、
0:28:26	丸 2 段目③駄目は、かなりの費用を、
0:28:30	領域になっているので、エミのところは 1000 段階までもしないということで、しっかり赤もしないとはわかるんですけど、そうしたときに伝播していつて、
0:28:41	行ったときに、その岩盤より上の方に応力再配分ができないと、横方向に広がっちゃう可能性だってあり得るし、有限層の方だと方向性が決まって決まっちゃうから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:53	どンドンある方に実態と違うようなイメージになっちゃうかもしれないけど、そこまでやった上で、破壊領域が祖父、弘田小広があったとしても、
0:29:05	基本的な修正を確保できてるっていう確認は必要だと思いますが、
0:29:09	いわゆる
0:29:10	静的設計解析、動力の自然的線形解析ありますよねフラッシュの後に、コラプラスじゃないですけど、
0:29:16	同時刻の、でそれをやって、実際の、そう。
0:29:22	破壊進展が、の方が広がりを示せないこと、また広がったとしてもそこに対してのその強度低下、残留強度とかそういった強度低下を踏まえた滑り安全率を計算したとしても、滑らないという検討は、従来、
0:29:35	規制庁が発足する以前からやっている話なのでそれは、
0:29:39	検討していただきたいと思いますが、いかがですか。
0:29:44	はい。中国電力の鹿島です。承知いたしました。今おっしゃられたガンマ線形で考えておりますので市長の負担本来負担する、する限界以上の暴力持っている状態ですので、
0:29:56	この時間で応力再配分をかけてですね、周辺の要素がどのように破壊が進展するかということを確認した上で、まず必要に応じて滑り線の追加をして確認をしたいと思います。
0:30:06	以上です。
0:30:08	続いてですね、二つ目なんですけど、
0:30:11	これはですねこの滑り面法で見たときに、この 199 ページそれ以降も 100 ページなんかみんなそうなんですけど、
0:30:18	鉛直支持力で考えるのであればこういうふうな、
0:30:21	ね、滑り線を考えてもおかしくはないんですけどね。
0:30:27	いわゆる片方向に水平方向の力が卓越していて、をし、それが、
0:30:33	単独として出た場合にはそういう方向の力が杭栗崎の方に、
0:30:39	かかっているそれがはねるように変形して、がん表のところで一つ変曲点になってっていう形になるとすると、
0:30:47	いわゆるこの 199 ページだとしたら、V字型の赤線だとか、V字型の、
0:30:56	多い点線になってますかそうではなくて、
0:31:00	一面滑りとして滑っていく。
0:31:02	いわゆる杭管から、フクイ作田栗崎から、その地表面まで、例えば、199 口で言えばこの赤線、赤点線であれば、栗崎から、
0:31:14	下表に結んでるこの緑の四角の要素ありますよねそのセット結んでますけど、そこまでの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:21	浅部んで安全率を見ないと。
0:31:24	いわゆる、
0:31:25	水平支持力にはならないと思うんですよね。国に対するそういう形で、安全にする、しないか、それを検討しないと、いわゆる横方向にこうしたをされた時の反力として、
0:31:39	がん表のところのところ、
0:31:41	の近くで背反曲点が出てるとしたならば、
0:31:45	逆に、
0:31:47	下の方も、海側の方に、
0:31:50	栗崎は、押し出されるような変形が起き、起きて、
0:31:55	いわゆるくさび状のものを上にせり出すような寒波岩盤のね。
0:31:59	クサビくさびを、三角形を押し出すような状態になるんで、そうなると、杭が倒れちゃうか、大きく変形しちゃうので、倒れないにしても、
0:32:09	力のつり合いが上まで思うのが乗っかってるから、転倒はしないまでも、変形大きくなっちゃう。
0:32:16	その時にあまりそれが、
0:32:18	滑り線上にツチヤ月取り合いであれば、かなり止水ゴムとか、
0:32:25	に負担かけものすごく変形が出ちゃうんで、ちょっと設計、
0:32:30	想定して、
0:32:31	いない事象が起きちゃう可能性があり得るので、そこはちょっとですね、
0:32:36	検討していただきたいんですが、よろしいでしょうか。
0:32:41	はい。もうちょっと話し続けると、いわゆる危惧して私危惧してるのは、この黄色センター黄色を、
0:32:51	引張破壊とか、赤のせん断破壊等がホール開放して碎波をね、再配分していったならば、
0:32:59	横に広がりかもし示すようなことが起きたならばですね、割ともう少し低角な、
0:33:06	滑り線が出てきてそれを、
0:33:08	このV字なくて一つの1名センターみたいな感じですね磁力出すと非常に、
0:33:14	厳しくなるんじゃないかなということに気にかけて
0:33:18	そうならないことはやって欲しくないなと思ってんだけど上に鉛直力がかかっているから、その分だけ基本的には抵抗力があるわけで、Σタンジェント場合っていうか、Σ部位のタンジェントφということでその重みでその摩擦係数が大きくなってるはずなんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:34	そういうところが多くなってるんで、それでまあ、4.5とか出てるんですけど、角度が変わるとまた変わるけど、例えば定額するとその鉛直成分の分大きくなるから、増分はあるんですけどね。
0:33:46	そういうことも含めていったときに、うん。
0:33:50	うん。
0:33:51	力をつり合いとして保て保てるのが可能な方も出ているのかどうか、それがまだ我々、私としてはまだここ、この結果だけでは判断できないので、
0:34:01	ちょっと
0:34:04	もう一歩進んでですね検討を進めていただきたいということです。
0:34:09	今二つ目で、二つ目の話をさせていただいたんですが、それでさっきちょっと詳しい出しましたけど二つ目は、三つ目は、止水ゴムの影響。
0:34:21	線形解析で、
0:34:23	瀬戸岸 1000Kをやって、その時に、
0:34:27	包丁ての貿易の頭
0:34:31	の変位が、
0:34:35	いわゆる今計算している変位と、
0:34:38	あまりそういうないことはちょっと確認してください。多分ここが一番大きくなりますよね。
0:34:42	は、赤井を見てだけ見てある程度な何かして、
0:34:46	しまう形があるんで岩盤が、だからもう少し再配分した段階で、ちょっと変形増えてるかもしれないけど、そんなに過大な変形になっていないことを確認する必要があって、
0:34:56	それはちょっと、
0:34:59	チェックはしてください確認して説明した上でその結果を説明してください。
0:35:04	四つめは、
0:35:07	昨日は、
0:35:08	公費破壊をした。
0:35:10	状態自身で
0:35:12	基準地震動を受けて、赤い
0:35:15	では、今破壊領域ができちゃったっていう話で、かなり大きな広がりを持っていて、
0:35:20	たとえば力のつり合いを保っているという状態でもある残留分ってのちょっとあるわけですよ実際には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:27	部分的には、もう食うん岩盤はクラックが起きてんだけどその時津波が来たときに、
0:35:32	倒れませんよねと、そこはちょっと念押しですね。
0:35:36	なるほど。どういった方法でやれば検討できるのかってちょっとわからないんですけど私もね。
0:35:42	ちょっとこれは何か懸念しておいたのをちょっとチェックした方がいいんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。
0:35:49	はい。中国電力の鹿島です。今、江崎さんからおっしゃられた4点の指摘趣旨理解いたしました。まず1点目が、その繰り返しになりますまず応力再配分によってがワカマツの破壊の進展の有無。
0:36:02	広がり領域を確認するという点で2点目が、
0:36:06	水平の申請の観点から今回V字で滑り線に関係としておりましたが片側受動側の破壊によるキアガリですね、そういった観点から、
0:36:16	今の引張領域を通して地表面まで抜けるようなくさび状の片側の滑りの検討を行い、赤い判定班会が広がるようであればより低角の滑り線も視野に入れて検討いたします。
0:36:28	あわせて、その際にですね、剛性が低下の、すいません天端の変位ですね、これを見ることで止水五名の影響はどのようになっているかというのをチェックをするということ。あわせて、
0:36:39	イシダしようと思います。
0:36:41	あともう一つの津波時と我々の影響、影響ですね、影響がないかっていう観点で、うん。結構難しいなとは思うんだけど、そこは、
0:36:52	一応、
0:36:54	地震が起きた後、後に全部、
0:36:57	根の修復、
0:37:00	できる前につ基準津波が来るという前提に立って今まで検討を進めてきてますから、そうした場合でも大丈夫だという、
0:37:08	何らか根拠を作る必要がありますんで、それはちょっと難しいと思いますけどちょっといろいろとですね専門家にも聞きな必アノ、
0:37:17	検討していただきたいと思ってます。
0:37:23	はい中国電力の加島です。喜瀬は理解いたしました地震では破壊が、岩盤の方で局所的にお諮りしていること前提で、
0:37:33	津波時に、健全性が、岩盤の方が地盤が保てるかという趣旨だと理解いたしましたのでちょっとやり方を含めてですね、もう一度持ち帰って検討したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:40	規制庁のハツリです。先ほどちょっとエザキの話を聞いていて、
0:38:46	ちょっと私も勘違いしていてこの滑り安全率を求めるときに、許可の時のフローチャートに従ってやってると思ってなかったの、
0:38:57	ちょっとこんだけ引張破壊領域があるとな、ということでちょっと確認をさせていただきました。
0:39:02	先ほど上位の方にその話を載せるということは理解したんですが、
0:39:07	できればですね、これちょっとコメントとしては残さないんですけど、説明するとき、上位の方に載るのはいいんですけど、こういう少しこういう懸念があるところは、それを
0:39:20	麻痺、
0:39:22	ここで引っ張ってきて、ちょっと説明していただいた方がわざわざ上位まで見に行かなくても済むので、
0:39:28	アノは懸念のないところは別に上位の方見に行けばいいんですけど、
0:39:32	こういう懸念のあるところはちょっとそう少し丁寧にそこら辺のフローも載せた上でこうこうだからこうなんですみたいなのがその資料だけでわかった方が、
0:39:42	わかりやすいと思いますので、
0:39:45	その点はよろしくお願ひしたいんですがいかがですか。
0:39:50	はい中国電力ユリです。すいませんこちらの方に安全性率算定フローをですねおつけしていなかったの、ちょっと羽鳥さんの方で、誤解を生むようなことになってしましまして申し訳ございません。
0:40:02	衛藤上位だけでなくですね、こちらのアノ会の方にもですね、資料のわかりやすさの観点から、必要な資料をお付けしてご説明したいと思います。以上です。
0:40:14	規制庁のハツリですはいわかりました
0:40:18	んなんでしょねこういう特質なところだけって話ですので全部ということではないので、もう少しわかりやすいの観点でという話をしましたので、
0:40:29	それわかりやすくなれば別に持ってこなくてもわかるんであればそれは紐付けでも構わないんで、そこら辺は工夫していただければと思いますので、よろしくお願ひします以上です。
0:40:40	はい中国電力李です。承知いたしました。
0:41:06	はい、規制庁チギラです。それでは今の申し送り事項のナンバー113と115。
0:41:15	関連してよろしいですかね。確認。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:18	江藤。はい。それでは次の回答の方をお願いいたします。
0:41:27	はい、中国電力の梶田です。資料ナンバー1、指摘事項に対する回答整理表の1ページをお願いいたします。
0:41:37	詳細設計申し送り事項ナンバー110213につきまして、こちら、今、こちらの資料で後日回答ということで、しておりますが、本日、回答させていただきたいと思っております。
0:41:50	回答整理表の方に反映ができておらず、大変申し訳ありません。
0:41:55	回答の内容とし、いたしましては、ナンバー112、113の回答欄にお示しをしておりますが、セメントミルクの評価方法についての
0:42:05	ご説明となります。
0:42:10	こちらの回答といたしまして、資料ナンバー4、耐震性に関する補足説明資料通しページの16ページをお願いいたします。
0:42:24	多重鋼管杭式擁壁の各部位の役割をお示しをしております。
0:42:29	ページ多段の注記2の記載の通り、セメントミルクにつきましては、岩盤ミルク、失礼しました、岩盤として評価する方針としております。
0:42:39	通しページ318ページをお願いいたします。
0:42:49	セメントミルクを岩盤として評価することの妥当性をお示ししております。
0:42:58	はい。です。
0:43:00	失礼しました。
0:43:03	セメントミルク、
0:43:04	岩盤として評価することの妥当性をお示ししております。
0:43:08	2ポツ、強度試験結果のところになりますが、
0:43:12	セメントミルクの強度管理目標としましては、多重鋼管杭を支持する岩盤の強度である9.8ニュートンパー平方mmとし、施工時におきましてはすべての鋼管杭に対しまして、一軸強度試験を実施しております。
0:43:27	ページ花壇にセメントミルクの一次強度試験結果をお示ししております。
0:43:33	セメントミルクにつきましては管理目標値を上回る強度を有し有していることを確認したことから、セメントミルクを岩盤として評価することは妥当と判断をしております。
0:43:44	詳細設計、申し送り事項ナンバー112、113についての回答は以上となります。
0:43:52	はい。規制庁チギラです。それでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:55	今の点について確認していきたいと思いますが、ちょっと私、確認したかったんです今、3、都丸の資料の 318 ページのところ、参考資料 3 で、
0:44:06	セメントミルクの評価方針が書かれていて、
0:44:11	流れとしては、わかったんですけど、
0:44:15	ここで言っている管理目標値なんですけど、管理目標値っていうと
0:44:21	実際杭を施工するとき、施工要領とかでから決まってくる。
0:44:27	間力っていうのがあると思うんですけど、それと、岩盤の、もう 10.8 ニュートンっていうやつ。
0:44:37	もう、最初に、その施行の時から 9.8 っていうのを決め打ちで行ったのかっていうのがですねちょっとよくわからなかったんですけど。
0:44:48	実際にちょっと、
0:44:51	その辺が混同しててわかりにくいなと思ったんですけど、多分違うと思うんですよね。管理目標値っていうのは多分他にあって負けた時っていうのは、
0:45:01	岩盤の強度があると思うんですけど、ちょっとその管理目標値っていう言葉だけなんですけど、ちょっとその辺についてですね。
0:45:09	どのようにお考えか。
0:45:11	ご説明いただけますか。
0:45:15	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:45:19	施工段階の時にまず管理目標値を何するかっていうので、基本的には十分な強度があるものということで数値的な目標値っていうのは、記載等は基本ないんですけど、
0:45:33	当社が考えてた管理目標値としてはここもともと岩盤に根入れさせるといことで岩盤競争等は必要だろうというふうに考えまして、当初から施工管理の目標値として、
0:45:46	9.8 ニュートンというのを考えてそれに施工をサトウの仕様を決めて配合を決めて、管理していたというものでございます。ちょっとその辺りが、当初からっていうのが、
0:46:00	ていうところと管理目標値っていうところとあと、
0:46:03	この岩盤の強度っていうところも同じ、そのまま書いておりますので、ちょっと最初の
0:46:11	どういうふうに管理目標値を決めたかっていうところと、実際どうだったかというのを少し、記載を、
0:46:17	もう少し詳しくさしていただけたらと思います以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:30	はい。
0:46:31	はい。はい。
0:46:32	で、今ありました通り、これは施工するとき、コンクリートと同様にですね、抜き取ってもので供試体を作って、試験、
0:46:43	条例確認したもので、抜き取りはさすがにちょっと難しいので、そういった管理をしております。
0:46:49	はい。
0:46:55	ちょっとその辺りの管理のやり方とかですね、施工管理方法と、実際に旧のものが、少しわかりやすいように記載の方は見直しをさせていただけたらと思います。以上です。
0:47:07	はい。規制庁チギラミズシマのヨシツグさんの話大体わかりました何か。
0:47:12	フクイの施工とかで特殊な方法とかの場合、その根固めというかですね先端の地域力とか大きく取る時っていうのは何か、その施工管理っていうのがあって
0:47:25	所定の強度っていうのを決めるっていうこともやられると思うんですけど、そういうことではなくてもう目標値としては、岩盤の強度っていうのを当初から設定してたと。
0:47:38	いうことで理解しましたのでちょっとその辺がわかるような形にさせていただけると、はい、助かると思いますので、
0:47:45	あと、はい。数量はこれ 100、これはあれですか。
0:47:50	1000 数百 91 っていうのが、これがどういう関係なんですかね。
0:47:59	中国電力の会社です。
0:48:02	この 191 なんですけども、試験自体はすべての鋼管杭で実施をしております、191 本鋼管杭があって 191 供試体で試験をしているというところになります。以上になります。
0:48:18	そうですね。ちょっとその復帰力の内訳今話された内容もちょっと書いていただければと思いますので、
0:48:32	はい。木曾事業部ほか、今の点ははい。
0:48:39	規制庁の三浦です。ちょっと今辺 318 ページで、
0:48:45	セメントミルクの一軸圧縮、これ最大値と最小値かなりばらつきが大きいですよ。
0:48:51	この要因って何かおわかりになられてます。
0:48:57	はい。中国電力吉富でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:02	基本的には全部 9.8 ニュートンで管理をする目標にしておるんですけどもやはり
0:49:10	施行時期の違いっていうのですね、あとは、
0:49:17	確かに、はいかなり長い期間をやったと聞い 2、とは、の施工時期の違いっていう共同のものが一つ大きい要因だと思っております。冬場で、
0:49:30	少し会合を変えてですね、
0:49:33	冬場でやってる場合のとく夏場でやってる場合っていうところの差が大きいんじゃないかなと思っております。以上です。
0:49:40	規制庁の三浦です。GTGの差で配合書いてあるから温度補正とかがって入れちゃってるからなんでしょね。ちょっと
0:49:48	最大値がすごく出すぎてるなってのは正直思ったんすよ私セメントミルク、こんな出て見たことないんで、
0:49:55	大体、30 ぐらい。
0:49:58	から 40 ぐらいのところだと思って見てたんですが、今言ったように
0:50:02	時期の差で、かなり課長合意になってるっていうことなんですね。
0:50:16	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっとこの辺りはもう少し整理はさせていただいて、
0:50:24	地域でできるようにであれば、ちょっと考えさせていただきたいなと思えます以上です。はい。全然 9.8 は全くものすごく上回っちゃってるんで、全然問題ないんですが、
0:50:34	ちょっとこのばらつきが大きいっていうのが気になったのと、あとはその最大値が出すぎてるなってのは少し気になりましたところなんか少しおわかりのことがあれば、少し書き加えていただければと思います。はい。
0:50:46	はい。私から以上です。
0:50:53	規制庁の服部です。少し聞き逃したので
0:50:57	確認させていただきたいんですけど、
0:50:59	今の回答は、
0:51:01	申し送り事項に対する回答。
0:51:05	でしたっけ、もう一度とどこの、
0:51:08	回答だから、説明していただけます。
0:51:11	中国電力の会社です。すいません先ほどちょっと番号を間違えて、私がお説明をさせていただきました。正しくは、ナンバー111、それと 112 の回答になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:24	規制庁の服部ですはいわかりました。であればこれあれですよ。もう1点確認なんですけど、
0:51:29	文理Bというのはどういう位置付けなんでしたっけ。
0:51:36	はい、中国電力ヨシツグでございます。分類Bは会合にて申し送り事項のご説明をさせていただく案件でございます。以上で、
0:51:45	規制庁のハッタですはいわかりました。であればいずれ会合で改めてきちっと説明されるものだということで理解をいたしました。そういうことなので、一応グレーにはならもともとグレーにならないんですけど、
0:51:59	グレーにならないんだなということで理解をしました。
0:52:05	規制庁の服部ですあと1点これは記載だけのお願いになるんですが、
0:52:10	3、わかりやすさの観点だけなんですけど318ページのところの最後のところですね。
0:52:17	セメントミルクは岩盤上回る強度と書いてあるんですけど、
0:52:21	どこか2、
0:52:23	岩盤の強度を少し変えていただくと、例えば、セメントミルクの強度は岩盤の強度カッコウダカンバラを上回るとか何かすごい、それでいいでもでもいいですしこのセメントミルク1軸圧縮結果の横に岩盤の結果をつけてもいいし、
0:52:39	ちょっとそれはお任せしますけど、そうすると、ずっと頭に入ってくるので上回ってるのはどれぐらいは回ってるんだなっていうこともわかりますので、これ只野記載ですけど、
0:52:50	そこら辺ちょっと説明性向上の観点から、付け加えていただいてもよろしいでしょうか。
0:52:58	はい。中国電力の梶田です。承知しました。付け加えさせていただきます。
0:53:01	規制庁の服部です私から以上です。
0:53:07	はい。規制庁、喜田です。
0:53:09	その点、よろしいですかね。はい。ちょっと記載の方、充実していただければと思います。それでは次のコメント回答お願いします。
0:53:21	はい。続きまして前回のヒアリングでいただきましたコメントの回答についてご説明をさせていただきます。資料ナンバー1、8ページをお願いいたします。
0:53:39	コメントNo. 50について、一コンクリートと鋼管杭の構造概要を示した上で、実機とモデルとの整合性について説明することとのコメントをいただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:51	こちらの回答といたしまして、資料No. 4、通しページ 28 ページをお願いいたします。
0:54:06	ーコンクリートと鋼管杭の構造概要としまして、28 ページから 31 ページに、5、概要、構造、
0:54:14	32 ページから 34 ページに行くコンクリートへきの配筋図を追記しております。
0:54:23	配筋図のほうになります、スタッドジベル等は設置をしておりません。
0:54:29	投資 338 ページをお願いいたします。
0:54:40	実機とモデルの整合性に関する検討としまして、
0:54:44	3次元構造解析において、コンクリートへ木藤鋼管杭は行って、一体で挙動すると判断しまして、接点共有としてモデル化することについての検討を示しております。
0:54:56	通し 341 ページをお願いいたします。
0:55:05	評価内容をお示しております。
0:55:21	鉛直上向きの地震力による引き抜き引抜き力に対しましては、鋼管杭とコンクリート駅の境界面における付着力が抵抗耐力となり、
0:55:30	鉛直下向きの地震力による押し抜きに対しましては、鋼管杭とーコンクリート駅の
0:55:36	境界面における付着力に加えまして、
0:55:39	鋼管杭上端部で、鋼管杭が私服コンクリートへ供試抜こうとする際のせん断抵抗が耐力となります。
0:55:48	コンクリート平均に作用する鉛直方向の地震力のうち、耐力が小さくなる、鉛直上向きの地震力による引き抜き力に対しまして、十分な体力を有し有していることを確認しております。
0:56:01	342 ページをお願いいたします。
0:56:08	ページの上段に調査フロー及びイメージをお示しております。
0:56:14	またページの方に検討に用いますーコンクリートへき天端におけます最大加速度及び鉛直震度をお示しております。
0:56:23	通し 343 ページをお願いいたします。
0:56:30	評価結果をお示しております。
0:56:32	最後の表に人達をお示しております。
0:56:37	鋼管杭と非コンクリート蛇の付着力はコンクリートへきの鉛直上向きの慣性力に対しまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:43	十分に大きく鋼管杭から非コンクリート引抜きは生じず、一体性を確保していることから、3次元構造解析におきまして、コンビと非コンクリートの境界設定としまして、
0:56:55	接点脅威とすることは適切であると判断をいたしました。
0:57:00	コメントNo.51の解体は以上になります。
0:57:09	はい。規制庁宇津木です。今のはコメントNo. 55です。失礼しました。
0:57:14	50番の今の説明に対して確認する点がある方。
0:57:30	規制庁の谷口です。基本的にはおっしゃってるっていうことはわかりましたけど、
0:57:39	フィックコンクリート駅自身のコガ鉛直の方向の佐山江藤地震力が作用して、
0:57:47	引き抜き力を死ぬ気力が発生するというのを想定して考えたっていうことですけども、
0:57:54	この事象が、この被覆コンクリート駅の評価にあたって、
0:58:01	それが主要なものになるっていうことについての、
0:58:06	説明をどっかで記載していただけないでしょうか。
0:58:09	基本的にはこういうふうの評価した時にはこうなったっていうのはわかりましたけれども、
0:58:15	これが実際の皮膚コンクリートの評価にあたって、主要な事象になるっていうことを、どっかで説明しておいてください。
0:58:29	中国電力の梶田です。
0:58:32	コメント、承知し、いたしました。追記をさせていただきます。それが条件でこういうやり方でやりましたっていうスタンスだと思いますので、よろしくをお願いします。
0:58:43	それからもう一つ、
0:58:45	この評価上は、照査値が実際の力が発生するものに加えて、十分照査値は低いというのはわかりました。ただ、
0:58:58	その付着力を評価するのに当たって決めた490kN、
0:59:05	という数字。
0:59:06	これは土木学会の部分に書かれてるものをそのまま使ってるって状況ですけど。
0:59:13	引用されている論文が、
0:59:16	実態のものと、まだこれに適用するのが妥当だっただけあるっていうことについての、
0:59:24	説明。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:25	適用性について説明をしていただけますか。
0:59:50	はい。中国電力の梶田です。
0:59:52	こちらのせん断失礼しました付着力の設定に用いてます値は、
0:59:58	別で説明させていただきました多重鋼管杭の許容限界、
1:00:04	運営に関する実験、そういった解析でお示した際の、衛藤耐力と同程度、同じものを使用しております。
1:00:12	そちらの
1:00:14	実験におきまして、
1:00:18	十分な
1:00:27	そちらの実験におきまして
1:00:29	事務の体力融資ということを確認できましたので、こちらでも適用ができるというふうに考えております。
1:00:35	はい。少し補足をさせていただきます。
1:00:39	今回ここで使うちょっと論文の詳細が記載してないので、まずそれをちょっと追記させていただきたいと思います。この論文では鋼管杭のようなものとコンクリートの付着のような強度の試験を図っているものでございまして、
1:00:55	強度等の、その記載と、当社のこのところで使えるのかどうかという適用性のところについての不足だと思いますそれは追記をさせていただきたいと思います。
1:01:06	先ほど梶田が申しました参考資料1でそれを使って、
1:01:11	当社が実験をしておる鋼管杭の実験のときにやったものと、それを使ったアノ490というものを使って解析したものが概ね同じような挙動をしていると。
1:01:23	そういったところの妥当性の確認ではないですけどそういったところを少しやったという説明を今、させていただいたんですけれども、まず論文でどういった
1:01:32	もので今回我々のものを適用できるかっていうのをですね、この後ろの方にちょっと追加でさせていただいて、その妥当性というのを定義は、失礼しました適用性と、
1:01:43	いうものを追加でご説明させていただけたらと思います。以上です。はい。よろしくお願ひします。照査値が相当低いので、大きな影響はないかもしれませんが、きっちり説明しておいてください。よろしくお願ひします。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:10	うんは規制庁みたいですけど、基本的にこの数字っておかしい数字じゃないですよ。建築の常識から見ても、この程度っていう感じますハード付着強度なので、あまりコンクリート強度には依存しないので、
1:02:22	そのところも含めて 4.9 たら、
1:02:26	一般建築なんかでも考えてみても、それなりの値かなという気がしてます。
1:02:31	ちょっとさっきちょっと御説明られた実験の話で、4.9 以上あることが確認されたって同じ主張されてましたよね。それはどういう話でしたっけ。
1:02:43	ちょっとアノな、先ほどちょっとご説明なられたことでその 4.9 デフチャコードがリーズナブルであるっていうことが確認されましたってちょっとおっしゃられたんで、
1:02:54	それ、どういう内容のことなんでしたっけ。
1:03:10	中国電力の梶田です。すいません先ほど私が 4.9 以上の確認されたっていうちょっと発言をしたんですけども、
1:03:17	4.9 影響、失礼しました、鋼管杭と鋼管杭の間の今日、3 次元における設定といたしまして、こちらの 4.9 のせん断
1:03:27	強度を入れた際に、実験との整合性がよくとれたというところを言いたかったところで、すいません私のちょっと発言が、誤り誤解を招くような発言をしました。4.9 でやってみたら、実験と、
1:03:42	すごくマグロ的な挙動がほぼとられましたっていうだけで、4.9 確認されてるわけではないですよ。
1:03:49	むしろそこはあまり書かないで、今谷口が言ったように、
1:03:53	論文の方との整合を少し固めた方がいいんじゃないかなって気がしました。はい。私から以上です。
1:04:05	規制庁の服部です。2 点ほど事実確認をさせてください。
1:04:10	28 ページの方から今回 20 監査、30 から 40 巻のところの説明がありましたけど、私がちょっと認識してたのは、
1:04:20	これ場所によって上から下まで 30 間のところがあるんというふうになんてちょっと認識して、そういうふうになんて頭に浮かんでいたん思い描いていたんですけど、
1:04:31	そういう、
1:04:32	ところはないんだ。
1:04:34	ということでよろしいんですよ。あくまでも一つの杭で 40 かになったり 30 管になったりするところがあるという意味でこの間、
1:04:44	おっしゃってたということで理解すればいいんですか。どうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:52	中国電力の梶田です。
1:04:54	衛藤。
1:04:56	資料ナンバー4-24 ページをお願いいたします。
1:05:04	縦断図をお示しております。
1:05:06	先ほど服部さんがおっしゃられた通り、江藤参事官の三野区間が存在します。こちらの縦断図の区間を、
1:05:16	矢印で示しているんですけども、上から二つ目で、30 幹部 40 幹部ということで分けをさせていただきます。こちらの中段左の方の西端部の部分が 30 幹部、
1:05:28	というふうになります。
1:05:30	以上です。
1:05:32	規制庁の服部ですはいわかりました。私の認識は間違ってたということで、理解をしました。
1:05:40	それと先ほどの話でちょっとこれも事実確認だけなんですけれど、
1:05:45	341 ページの話なんですけど、
1:05:48	私はこの回答としてわあ、こういうふうに言ってくるんだろうなと思ったイメージが少しあって、
1:05:57	私のイメージは、例えば、
1:06:01	鋼管ぐイトウ、コンクリートの間に、
1:06:05	ジョイント要素、ごめんなさいえっとですね、例えばこの 342 ページのイメージで断面図でいうと、
1:06:13	何かジョイント要素みたいなもの設けて、
1:06:16	鉛直力じゃなくて水平の芸による、
1:06:21	鋼管杭とコンクリートの剥離みたいなものを、
1:06:25	評価してきて、
1:06:29	剥離しませんよみたいなそういう解決をしてくるのかなと思ったんですけど。
1:06:34	これあれですかね、水平力に対しては、
1:06:38	地上部に出てる部分というのは、あくまでも短いし、早めに土があるわけでもなくて、
1:06:44	慣性力だけかかるだけなので、そんなに大きな曲げは出ないので、
1:06:50	そういうような剥離現象というのは、ほとんど出ないだろうということで、
1:06:56	認識しておけばいいんですかね。その点の事実確認中国電力の考えだけ少しよく確認できればと思うんですがいかがですか。
1:07:07	はい。中国電力のヨシツグでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:12	今、羽鳥さんおっしゃられた通りのもので
1:07:16	交換日のゲーム。
1:07:25	すいません中国電力ヨシツグです。例えば、350。
1:07:29	331 ページを、足④の資料の 331 ページをご覧ください。
1:07:38	これが 40 巻の、
1:07:42	一次断面のところのSs-Dのマイナスプラスの結果でございますが、
1:07:47	これ見ていただきますとえとき、
1:07:51	一番左側の方が、曲げモーメントの図でございます。地表面より上のところのところを見ていただきますとあまりそういったコメントっていうのはやっぱり岩盤との境界部分、こういったところが出ております。
1:08:04	で、変位も、
1:08:07	水平方向でも 30 センチ程度ぐらいしか、最大でもですね、出てますので、水平の方向っていうのは
1:08:18	そのままずれているだけのような、そのずれというよりは上向きの方の慣性力の方が大きいだろうということで今回、こういった検討をさせていただいております。以上です。
1:08:31	規制庁の服部です。今の 30 センチの曲げというのは、
1:08:36	下か上です米田私が聞いているのは要するに鋼管杭とその不被覆コンクリートの剥離現象みたいなものに対する工程、それ、よく鋼管ぐいなんかは、フジモつなげるときに、
1:08:51	バンドつけてずれ止めみたいなつけるじゃないですか。そういうようなイメージでこうずれをこう防止するような、そういう構造もよくあるんですよ。コンクリートと交換をつなげるときって、そういうのはないと今回、
1:09:03	ということなんで、そこら辺はどうなのかなというふうに聞いているのかなと私はちょっと認識していて、一つはその鉛直力の鉛直地震動の話は、ここに載ってるということで、私はちょっと思ってたのは下に対して、
1:09:17	剥離するのかなと思ってたんですけど、あくまでもこの出ている部分っていうのは、
1:09:24	トップとその出てる部分の下とのソウダ変形量もあんまないし、曲げ変形もほとんどないので、
1:09:31	ぐなった、全体的にV頭が 30 センチてるってことはわかるんですけど、その相対の曲げ変形があまりないのでそういう剥離現象はあまり出ないんということで、
1:09:42	認識しておけばいいのかなということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:45	中部電力の考えをちょっと聞きたかったというだけなんですがいかがですか。だけというか、聞きたかったんですがいかがですか。はい。中国電力ヨシツグでございます。今服部さんおっしゃられた通り上の部分でいきますと、鋼管杭全長でいくと、30メートルぐらいあるところですがここは
1:10:02	大体 8.5 から 15 メーター、6.5 メーターぐらいは要は 5 分の 1 程度の先端の部分だけになっております。そういったところでの水平方向による、
1:10:13	ずれというよりは鉛直方向の荷重の方が、直接効いてくるという方で、選んでおります。先ほど谷口さんのコメントもあった通り、こういった破壊モードじゃないですけれどもずれ、その
1:10:28	衛藤交換のところとコンクリートのずれというものをどういうふう到我々が考えてですね、この調査をしているのかと、そういったところが、
1:10:37	説明ができればですね、羽鳥さんの今のご質問についても御ご回答ができるのかなと思っております。以上です。
1:10:44	規制庁の服部ですはい。わかりました私からは以上です。
1:10:50	はい、規制庁チギラです。それでは、次のコメント回答の方をお願いいたします。
1:11:07	はい。続きまして資料No. 1、回答整理表の 8 ページをお願いいたします。
1:11:19	ナンバー51 につきまして、A-コンクリート破断の鋼管杭について、耐震評価を実施することのコメントをいただいております。
1:11:29	こちらの回答といたしまして、資料ナンバー4、通しページ 344 ページをお願いいたします。
1:11:48	多重今回分子擁壁は、標高に応じまして、鋼管杭の構造が異なる断面変化点が存在しております。
1:11:56	資料本文の 4 ポツ、地震応答解析結果におきましては、すべての基準地震動に対しまして、最も厳しい。
1:12:03	断面となる断面に対しまして、詳細な結果をお示していたため、鋼管杭の断面変化点ごとの調査結果を、追記しております。
1:12:15	P三瓶 349 ページをお願いいたします。
1:12:23	349 ページに、断面変化点ごとの鋼管杭の、
1:12:28	曲げ軸力系破壊に対します最大照査値一覧を、
1:12:32	350 ページに、断面変化点ごとの鋼管杭のせん断破壊に対します最大照査値一覧をお示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:41	すべての断面変化点におきまして、鋼管杭の発生応力が許容限界以下であること、また、資料本文の4ポツ、地震応答解析結果におけます鋼管杭の耐震評価でお示している照査値が、
1:12:55	最大となることを確認しております。
1:12:58	351ページをお願いいたします。
1:13:04	351ページから370ページに断面変化点ごとの調査の詳細及び断面力図を、
1:13:11	お示しをしております。
1:13:13	コメントNo.30、51に対します回答は以上になります。
1:13:19	規制庁の服部です。はい。確認しました。以上です。
1:13:28	はい。
1:13:30	はい。それでは続きまして、資料No. 1、8ページをお願いいたします。
1:13:42	コメントNo.52につきまして改良地盤5、
1:13:47	のミナミ透水性について、局所安全率による評価を検討して実施することとのコメントをいただいております。
1:13:54	こちらの回答といたしまして、資料ナンバー4としページ193ページをお願いいたします。
1:14:14	防波壁の背面に設置しております改良地盤5及び2断面におきましては、改良地盤5に加えまして、統廃合の前面に設置しております地盤改良4につきまして、
1:14:25	全時刻の破壊履歴に着目した局所安全係数による健全性評価を実施しております。
1:14:32	193ページに2断面を、
1:14:35	194ページに、33断面及び4段目の破壊履歴図をお示しております。
1:14:42	改良地盤4及び改良地盤後におきまして、せん断破壊及び引張強度に達する要素がないことから、
1:14:49	ミナミ透水性の保持に影響するような流入経路が形成されず、改良地盤4及び改良地盤後は健全性を確保していることを確認しております。
1:15:01	コメントNo.50に対する回答は以上になります。
1:15:05	規制庁のハツリですはい確認しました。以上です。
1:15:10	すみません、他に確認する方。
1:15:16	規制庁の江寄ですが、193ページの
1:15:20	うん。
1:15:21	例えばね、地震動とケース。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:24	代表性の選定理由って書いてないんで、ちょっとわからないなと思っていてそれは、
1:15:31	説明していただきたいんですけど、それとともにですねちょっと、
1:15:35	理解が
1:15:38	できないのは、例えば 195 ページのさっき説明があった岩盤の、
1:15:43	例えば、
1:15:45	あれですよね局所安定係数を検討してる時の時刻と、宇和 10 億じゃねえな、ごめんなさい 10 億はどうなって基本的には地震動と、ケース。
1:15:56	見比べると違うんだよね。
1:15:59	193 ページはS _s -Dのーじゃないですか。
1:16:05	一方で、
1:16:06	宇和ん 195 ページはマイナスプラスなんだよね。で、検討ケースは、193 ページは、①で、
1:16:16	195 ページは、②なんだよね。そもそも最初の方の冒頭ですね、説明があったように、曲げモーメントが大きい時刻を選んできたケースを選んでるって話があるから、
1:16:27	多分同じになるんだろかなと思って他の前の方の、何だろう。
1:16:31	各部材部位の
1:16:34	評価ケースで見ても、基本的には、
1:16:37	別にーが、特に最大になるところっていう厳しいクリティカルなケースって出てきてなくて、いわゆる、
1:16:44	ケースと時刻歴の選定っていう、やってますよね、マトリックス上で、あそこでもあまり見られてなくて、これって誤記なのか、それとも補ん何か理由があるのか。
1:16:56	ご遺族わかんない。まず、
1:16:59	今日はとりあえずどういう、なぜーでマイナスがケース①になってるのかと。
1:17:07	で、200 ページと、なぜ、
1:17:10	200 ページ弱、195 ページか。
1:17:14	岩盤の方の方と違うのかってのちょっと説明できるんであれば説明いただけますか。
1:17:33	はい。中国電力ヨシツグちょっとお待ちください。
1:17:51	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:17:54	はい。ご指摘、理解いたしました。ちょっと、改良地盤については改良地盤単独でのちょっと確認っていうことを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:03	したと思っておりますので、岩盤の方、
1:18:08	のその下に注目したところと、ちょっと考え方が違ってますのでちょっとこれは
1:18:15	再度整理させていただいてですね、結果としては影響はないと思っておりますけれども我々の考え方がちょっと改良地盤と岩盤でちょっとずれておりますのでそこは再整理してまたご説明させていただきたいと思っております。以上です。
1:18:28	江崎です。はい、わかりました。
1:18:30	あとちょっと考察させていただいて、ちょっと説明いただきたいのは、この岩盤の方との関係性、多分これ、背後にあるやつは、止水性のためにやっています、
1:18:44	海側にあるやつは押さえということで、いわゆる岩盤の負担を減らすためにやってるはずなんですけど、
1:18:50	どうもそれ聞いてなさそうなんで、それで多分小ジョイント要素をつけてるからじゃないかと思うんですけど。
1:18:56	その辺の
1:18:58	説明、説明、いわゆる岩盤がこれだけちょっと
1:19:02	破壊領域が広まっているのに、海側の、
1:19:06	改良地盤はなぜ壊れてないのっていうことだと思うんですけどね多分ジョイント要素の関係で力逃げちゃってるんだと思うんですけど。
1:19:16	一応この結果が、基本的に岩盤とは違うん。
1:19:21	理由って異なると思うんですけど、その辺のちょっと説明考察を、
1:19:25	お聞かせいただけますか。
1:19:27	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。最初のころにありました岩盤のところでの考察の中に、
1:19:34	衛藤同時航空における改良地盤の共同と、
1:19:39	岩盤と改良地盤のその後精査も含めてあと解析上のジョイント要素、それで、
1:19:45	はい、はい。
1:19:47	そういった関係があるって評価が出てると思っておりますので、ちょっと考察の中でそこは追記をさせていただけたらと思います。以上です。
1:19:58	はい。規制庁チギラです。それでは今の50人については、こちらの回答については了としまして、今江崎からあった話については新たにですね、対応していただきたいというふうに思いますのでよろしくお願ひします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:13	それでは次のコメント回答をお願いします。
1:20:18	主要ナンバー1、指摘事項に対する回答整理表の8ページをお願いいたします。
1:20:31	コメントNo. 53につきまして、3次元構造解析に入力する変位、慣性力、静止度圧、海水圧につきまして、ついて地震応答解析において評価されるというものを重複して評価することの妥当性を説明すること。
1:20:47	とのコメントをいただいております。
1:20:50	こちらの回答といたしまして、資料No. 4、通しページ131ページをお願いいたします。
1:21:14	頁片野なお書き以降になりますが、こちらについて今、記載をしているんですけども、少し日本語がおかしいところがありますので、
1:21:24	ちょっと内容をこの場で訂正して、ちょっと改めてご説明をさせていただきます。
1:21:29	説明といたしましては、地震応答解析によりまして、算定しました鋼管杭におきましては、いただいたコメントの通り、常時荷重として、水圧、ドア、失礼いたしました。変位には常時荷重、
1:21:44	水圧脱並びに、風荷重、積雪荷重及び、地震時荷重増圧水圧、鋼管杭及び非コンクリート平均の慣性力が考慮されております。
1:21:56	3次元解析におきましては、鋼管杭の変位に加えて、常時荷重として、動圧、水圧、並びに風荷重、積雪荷重、地震時荷重として、鋼管杭及び皮膚コンクリート比木の慣性力を考慮しております。
1:22:11	そのため、鋼管杭におきましては、常時荷重の動圧水圧、並びに風荷重、積雪荷重、地震時荷重の、鋼管杭の慣性力につきまして、
1:22:21	重複した荷重を考慮している。
1:22:25	という所ところになります。ただし、鋼管杭に作用する荷重が重複しますことで、鋼管杭に対する法線直交方向の挙動の差異というところが大きくなりまして、法線方向のねじれに伴い、コンクリート平均に発生する応力は、
1:22:41	大きくなるため、液コンクリートの健全性を評価する上では、安全側の評価になるというふうに考えております。そのため3次元構造解析におきまして、
1:22:51	鋼管杭に作用する荷重としまして、常時荷重、
1:22:55	と、鋼管杭の慣性力について重複して評価をすることとしております。すみません。申し訳ございません本文の方が、ちょっと日本語がおかしいところが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:06	この場で訂正させていただきました。
1:23:08	コメントNo. 53 に対します回答は以上になります。
1:23:15	規制庁の三浦です。安全側になるのは、荷重を重複して入れてるんでそうだと思うんですけど、これはあれですから、最初から設計方針としてその辺を意識されてました。
1:23:27	結果として、こういう結果になっちゃった。どうなんですかね。
1:23:33	はい。中国電力の首藤です。当初変イダ系を入れるっていうのも考えていたんですけども、
1:23:43	今の現在の考え方は、先ほど説明した通りなんですけれども、その変位を入れていることによる慣性力の特に、
1:23:53	被覆コンクリート壁のところに慣性力を入れるべきかどうかというところを非常に悩んだところです。基本的にははい。
1:24:00	出るもので杭が変形はしておるんですけども、そこは、少し保守的かもしれないですけど入れをということで入れさせていただきました。で、
1:24:10	その時に
1:24:13	常時動圧とか水圧までかけるのかというそこはちょっと疑義があったんですけどもそれらも含めて再度かけたといったところがございますんで、再度整理して、今回はこういう考え方になったというのはそれは後日もう少し、
1:24:27	今回考えて持ってきた文章でございます以上でございます。わかりました。私はこれで結構です。はい。
1:24:37	はい。規制庁、喜田です。
1:24:39	では、コメント回答は以上ですかね。
1:24:42	まだありますか。
1:24:58	はい。
1:24:59	規制庁土肥です。こちらからだったり確認する点を、
1:25:04	確認していきたいんですけど、ちょっと時間もですね 11 時半を過ぎましたので、ちょっと
1:25:11	あと 25 分ぐらいですね確認していきたいというふうに思いますので、お願いします。
1:25:28	はい。規制庁の仲村です。時間あんまりないんで、手短かにいきますと、全部確認とか記載のところが多いんですけども、資料 4 のまず 9 ページですね。
1:25:41	今日のちょっと説明があったところではないんですけども、ちょっと改めて考えて思ったのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:47	ちょっと教えてもらいたいが9ページですイメージの絵が構造が書かれてるんですけども、その
1:25:55	右っかわに拡大って書かれてるところで、シスイメージがこう低く、
1:26:00	黄色いラインで書かれてるんですけど、
1:26:03	止水目地がどこについてるのかっていうのを、改めてちょっと教えてもらいたいんですけども。
1:26:11	今この絵でいくと何か上ぼくなってるじゃないですか。
1:26:17	はい、中国電力の梶田です。
1:26:20	水熱がどちらについているかというところですが、資料ナンバー4-8ページをお願いいたします。
1:26:33	8ページの絵と下から3行目になりますが、もともとの文章のところでも先ほどコメントいただきました通り、止水目地の設置位置というところがわかりにくいところがありましたので、わかりやすさの観点から、
1:26:44	水みちを保持するための水、止水性を保持するための水の一応、黄色ハッチに伴いますコンクリートへの陸側に設置するというところを追記させていただきます。
1:26:57	なので、すいません。失礼しました。なので、9ページのところになりますが、
1:27:05	こちらの拡大の絵でいきますと、今こちらの止水目地という矢印が、向いてるか、下から上に向かって向いてるかと思うんですけども、こちらの質疑下書いてある方向に、
1:27:18	失礼、書いてある側に水密の方が設置されているというところになります。
1:27:24	手前側が陸側というところになります。以上になります。わかりました文章のところと今の説明はわかったんですけどそうすると、ちょっとこう、
1:27:34	本当はですね、ホ今上から見たような断面になってるじゃないすか平面というか、それをこう横からの断面図の方が本当はわかりやすいのかなと思ったんですけど。
1:27:45	或いはその今書いているところをこう、
1:27:48	てっきりこのエミたら普通は黄色のところがしスイメージで書かれてるよう見えちゃうんで何かそういうちょっと工夫で、
1:27:58	誤解を受けないようになっていうんですかね、そういうちょっとところの記載をちょっと検討してくださいっていうのが1点と。
1:28:05	で、もう1点がですね、
1:28:09	28ページ以降ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:14	今回
1:28:16	多重交換の図を入れていただいたんで、わかりやすくなったんですけども、
1:28:22	これちょっと教えてもらいたいのがこの
1:28:24	てつきり私 30 館とかって全部 30 かなと思ってたんですけども、
1:28:30	その副参事間の区間と 40 間の区間があるとかってなって、
1:28:35	例えば 2 番 29 ページでいくと、③断面のところですね、30 間と 40 巻と いうのがあるんですけど、
1:28:44	これは、どうして今この位置で 30 巻とかって分けてるっていうのをちょ っと参考に聞かせてもらいたいんですけど、考え方っていうんですか。
1:28:54	以前の説明で、深さが小、
1:28:58	鋼管杭の長さが短いようなところは、そういう不三重管にするとかって いうのは聞いてたんですけど、今例えば 29 ページでいくと、この絵からど うしてそこで 30 巻と 40 巻っていうの分けてるのかっていうのがわから ないんでちょっと。
1:29:14	考え方のところだけ確認したいんですけど。
1:29:18	はい。
1:29:19	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:29:23	駄目設定の。
1:29:25	資料の方に記載してここにはそこまで書いてないのでちょっと口頭です いませぬ補足させていただきます。
1:29:33	今回のこの
1:29:34	29 ページの図のところとですね 30 ページのところにつきましては、防波 壁、
1:29:42	が、施設護岸よりも海側に出ているところでございます。
1:29:47	こういったところにつきましては、
1:29:51	ここに書いてあります 30 間のところ、要は、
1:29:54	従来のところ、
1:29:56	28 ページのような、
1:30:00	施設護岸よりも海側に、いや、
1:30:03	あるようなところは地表面よりウエイのところ、被覆コンクリートを作っ てるんですけども、海側にあるようなところでは、さらに下の、
1:30:11	ところまで鋼管ぐいを、
1:30:13	のところまで皮膚コンクリートすると。
1:30:16	で、そうしたときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:19	30 間 4 時間と 30 間のところの 3 時間と書いてあるところですけども そこまでアノコンクリートの部分を、
1:30:26	下回り入れているということでこういった、
1:30:30	護岸よりも前面側にあるようなところの部分については、
1:30:34	こういった構造のものを採用させていただいております。以上です。
1:30:39	はい。
1:30:40	あれですね。要するに 25 ページの、
1:30:44	断面図と、
1:30:47	26 ページの③断面の、この絵を見るとそういう周りのところの条件が 違うんでそれで長さを変化点を設けてるということですよ。
1:30:58	わかりました。ありがとうございます。で、あと 1 点だけお願いがあるの が、
1:31:03	24 ページ、前回のヒアリングの時を受けて、24 ページの断面図のところ に、30 幹部と 40 幹部っていうのを入れていただいたのはわかったんで すけどできれば小延長、
1:31:18	30 間のところの延長が何メートル、4 中間のところは何メートルという のぐらいがわかると、
1:31:29	その
1:31:31	圧倒的に 40 巻のところが多いなっていうのが理解できると思うんで、ち よっとそういう観点で追記していただきたいと思います。
1:31:40	はい。中国電力の会社です。承知いたしました。はい。あと 2 点ほどこ れも記載ですけども、164 ページ。
1:31:54	えっとその前後とかでずっと調査値とかが示されてるんですけども、こ の 164 ページはこれ滑りの話なんで、
1:32:02	調査地ではなくて、
1:32:05	最小滑り安全率か何かですよ。
1:32:08	という、
1:32:11	確認ですけど、
1:32:28	ちゅ
1:32:30	中国電力の会社です。コメントいただきました通り滑り安全、最小滑り安 全率になります。
1:32:37	以上です。
1:32:40	はい。はい。
1:32:48	スーツ基準と基準と比べて、終わってるとかっていう値じゃないですよ 多分ね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:57	はい。中国電力吉富でございますちょっと照査値と書いてしまうと今言ったような人間が出ますので、
1:33:03	滑り安全率、改良地盤、あとそれ以外については、大体安全率そのものの数字を載せていってNEATの許容限界の調査っていう比較をしておりますので、
1:33:13	それがわかるような記載にさせていただけたらと思います。以上です。すいません、最後聞き取りづらかったんですけど最終的には滑り安全率として、この数字を記載させていただいて、1.2より
1:33:28	以上というものがわかるような表現を今ちょっと考えて、ちょっと他の
1:33:34	すいませんちょっと資料との整合もありますので、少しそこは確認をさせていただいて、今、そういった形してたんですけども他の資料で、
1:33:44	例えば 1.2 で終わった照査値として記載をしているものがあるようであれば、ちょっとそこも含めて記載の適正化をさせていただけたらと思います。以上です。わかりました。何でかっていうとこの 164 ページ見た瞬間に、
1:33:57	1 を超えてるんでんって正直はじめ思ったんですよね。これよく見ると小冊子じゃ多分ないのかなと思って確認したんですけど、ちょっとそこは誤解を受けないような、
1:34:08	記載の方に改めてください。
1:34:11	あと最後、263 ページですね、これも、
1:34:19	記載というか、
1:34:22	なるだけなんですけどもまず、263 ページのところの図で、上の平面図の方なんですけども、
1:34:31	凡例で、まず
1:34:34	グレーのところがないんでこれ逆T擁壁っていうのも入れた方がいいのかなという、図の中にはグレーがあるんですね。
1:34:43	ええ。
1:34:45	判例の中に防波壁っていうのを入れた方がいいのかなっていうのと、あともう 1 点は、
1:34:51	該当範囲っていうところに、多分これ、上からペタッて張っちゃってるから、オレンジ色が切れ、消えてるってことないですか。
1:35:01	それともオレンジ色がこういう形状なんですか。
1:35:06	中国電力の梶田です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:08	こちらの該当範囲でオレンジ色が切れてるという、おっしゃる通りでこれ消えてしまっております。なので消えないように、ちょっと配置の方考えて、再図のほう修正させていただきます。
1:35:20	で、一つ目のコメントの逆T擁壁の追記につきましては、ちょっと記載の方、検討するんですけども、今回多重鋼管ぐいの資料になりますので、
1:35:32	ちょっと波返しを消すか、ちょっと逆に追加するかまたちょっと別途、別途検討させていただきます。以上です。はい。よろしくお願いします。私から以上です。
1:35:52	規制庁の三浦です。
1:35:54	ちょっと手早くいきます。
1:35:56	149 は補足説明資料 4 番の 149 ページ。
1:36:01	なんですけど、そこに、図の 3-3 の 5-6 ってますよね。
1:36:07	その上で、
1:36:09	解析ケース 1 から 3 のうち最初となるか、右側で赤字で最大となるってあるんですけど、これ言葉遣いだけなんですけど、
1:36:18	解析ケース 1 から 3 のうち、採取、
1:36:24	3 の交換。
1:36:27	鋼管杭変位のうち最小になる。
1:36:31	右側 1 から 3 の鋼管ぐい平易の、
1:36:35	うち、最大となる。
1:36:37	ということですよ。ちょっと確認も含めてちょっと言葉も直していただけるそうならば、アノゴトウを直していただければと思います。はい。
1:36:45	どうでしょうか。
1:36:57	はい。中国電力吉住でございます。はい。交換後変位の中で、最大値最小値というご説明でございますので、
1:37:07	ちょっと記載も含めて適正化させていただきます。以上です。はい。お願いします。それとあと、補足説明資料 4 番の 243 ページからなんですけど、
1:37:18	ここで被覆コンクリートのね、ちょうど感覚で鋼管杭の間の検定をされますよね。
1:37:27	これは確認なんですけどこれ、
1:37:30	ストリート様相の真ん中の 1 要素を取り出して、そのソリッド様子を断面力に変える、152 ページか何か断面力に変えるありますよね。それで算定されて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:42	る結果だっていうふうに理解していいですか。
1:37:51	中国電力の梶田です。コメントの通り、調査をしています。
1:37:55	それをですね、ちょっと照査 243 とかっていうのに記載しておいていただけますか。
1:38:02	どういう要素な人、どういう要素を取り出して、それを例えば 150 人に基づく、ソリッド要素を断面力に変える手法によって応力値を算出したっていうなことをですねちょっと書き加えておいてくださいお願いします。よろしいですか。
1:38:19	はい。中国電力吉住でございます。了解いたしました。はい。それとですね、
1:38:25	あと 100、ちょっとこれ私はわかんなくなっちゃったんですけど 155 ページからずっと鋼管杭のですね、
1:38:32	断面検定やられてますよね。
1:38:34	で、この番組の断面決定。
1:38:38	もう、
1:38:39	採草緑地っていうのはこれ、2 次元 FEM から求まってきている曲げせん断に対してなんですか。
1:38:48	ですよ。
1:38:50	中国電力の梶田です。コメントの通りでございます。これ当初のケースなんカー
1:38:58	図書の中でそういう、これを何かもう 30 年の結果のように読めちゃったんですよ。
1:39:04	少しちょっと工夫をしていただきたいなっていうのが一つ。
1:39:09	あともう 1 度は、
1:39:11	その 2 次元の FM の結果と 3 次元の雇用力の結果って、何かどのぐらいって比較をされてますか。
1:39:22	はい。中国電力吉住でございます。最初のやつは
1:39:26	154 ページに、4 ポツで耐震評価結果で地震応答解析結果というところで杭のものを書いてはいるんですけども、
1:39:36	その前段まででちょっと 3 次元のやり方等を書いておりますのでちょっとわかりにくいというのは、我々も理解いたしましたので、ちょっと解析手法の流れから結果がに行くことができるかどうかちょっと、
1:39:49	ここは検討させていただきたいと思います。はいちょっとその辺、これ 3 時間のモデルとか先に出てきちゃうんで、これ 30 年の経過の二次元の結果なんてちょっとわからないなと思いました。すいません。少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:01	言葉で工夫できるならそれでもいいですし、すみませんがお願いします。はい。中国電力吉富でございます。それと3次元の杭の結果なんですけども先ほど申しました通りかなり保守的な荷重の与え方をしておりますので、照査まではちょっと今確認ができていないという調査をしると言ってるのではなくて、何か、
1:40:19	やっぱり保守的になってるようになっていような確認が何かされてるのかなっていうだけです。
1:40:24	それにも当然に対して国の調査は必要ないんですが、
1:40:28	あれですよね鋼管杭の帳簿か何か相対変位の一番でかい晴嵐できて、今言った慣性力とか全部加えてきてるんで、
1:40:37	それが被覆コンクリートに与える影響としては星側の評価になってるっていうのを確認しといた方がいいと思ったんです。
1:40:43	なので、2次元で出てきている、応力でも変位でもいいんですけど、
1:40:48	それと比べてやると3次元変位っていうのがやっぱり保守的だよねとか、応力値が保守的だよねって。
1:40:55	いうのを少し確認をしといたらいいんじゃないかと思って、ちょっと申し上げたんですが。
1:41:01	はい、中国電力ヨシツグです。ちょっと3次元がアノ。
1:41:05	パレヅジもしくはアノ断面力図、そういったところで、2次元で考えているものと比べてどうかと、基本的には保守的になっていると思っておりますそこがちょっと確認をさせていただけたらと思います。以上です。お願いします。私から以上です。
1:41:25	規制庁の服部です私から何点か確認させてください。まず11ページお願い資料4の11ページをお願いします。
1:41:34	ここに施工手順が載ってるんですけど、この施工手順って正しいですかっていうことの念のための確認をさせてください。
1:41:43	一番上、
1:41:45	のところ
1:41:47	災害管を設置した後にセメントミルクとグラウト化をイデウ材を入れるって書いてありますけど、
1:41:54	ちょっと気になったのは、次のページを見るとグラフ上げって掘ってるんですよこれね。
1:42:01	そうする等、おそらく、
1:42:03	岩盤等災害館は密着しないんですよねsecセンターでね、ちょっと汚れがあるんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:10	グラウト材出る等、当然交換の中に回り込みますよね。
1:42:16	そうすると一緒に上がってきちゃう。
1:42:20	物理的には、
1:42:21	またはちょっと高めになってきて、ナカノ管が入らなくなるとか、
1:42:26	そういうことは考えられるので、何らかの工夫をしてるはずなんですけど、もしこういう施工を本当にしてるんなら、
1:42:33	まずはここ本当にこういう施工なんですかっていうのと、工夫をしている点があれば教えていただきたいんですが、こういう成功してるんだよという根拠として、
1:43:16	規制庁のハットリつ私は少し気になってるのは、本当に岩盤の周りにセメントミルクが入ってるのか、グラウト座いいがそこに入ってるんじゃないかということを少し懸念しています。
1:43:29	はい。中国電力の笹木です。施工方法としましては、
1:43:35	全周回転で掘削した後に、災害化を
1:43:39	打ち込んで、セメントミルクを、この記載の通りの施工方法となっておりますおっしゃられる通り、とした側からの回り込み等の、
1:43:50	影響がありますのでちょっとその辺に関してはまた、
1:43:53	衛藤追記させていただきます。
1:43:56	ことにさせていただけたらと思っております。
1:43:59	規制庁の服部ですわかりました多分セメントミルクを非質量管理何だろう。
1:44:07	容量管理でやってる等、回り込んだ分だけ下がってしまうので、そうすると一きちっとセメントミルクが岩盤床に入っていない、そこが一番設計的には懸念されますので、
1:44:17	そういうことがないんだよというところまでわかるようにしていただければと思いますがよろしいですか。
1:44:29	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:44:33	先ほどのコメントにもありました我々としては岩盤、穴が空いてるところについては、岩盤相当のセメントミルクで埋め戻しておりますので、その
1:44:40	説明性ということで今の施工方法の
1:44:43	やり方について追加のご説明をさせていただけたらと思います。以上です。規制庁のハットリですわかりました。あと何点か 222 ページをお願いします。
1:44:58	この黄色いところのパラグラフのところのちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:02	趣旨を教えてくださいんですけど、下から二つ目のパラグラフのところで、
1:45:07	防波壁(夕)10 交換運用費括弧現場の最大加速度が、
1:45:13	うんたらかんたらあって、
1:45:15	大きくなる要因としては、って書いてあって一番最後の方に、加速度応答が小さくなるためと判断したっていう括りになってんですけど、ちょっとここがわかりにくいので、
1:45:27	加速度が大きくなる要因として加速度応答が小さくなってるからってというのはちょっと意味として少しわかりにくかったんですがそこをちょっともう少し、
1:45:36	説明していただければと思いますがいかがですか。
1:45:39	はい。中国電力の梶田です。申し訳ございませんこれ衛藤。
1:45:44	誤記がございまして、
1:45:46	下から、
1:45:48	6 行目。
1:45:51	失礼した 7 行目になりますが、施設護岸等を、年上の指導年制度に置換した場合、大きくなる要因ということで記載がございまして、こちら申し訳ございません小さくなる。
1:46:02	が正しいです。申し訳ございません。
1:46:04	以上です。規制庁のハットリ差配それならわかりました。
1:46:09	あと、223 ページなんですけど、
1:46:12	ここってあれですよはいメインが一部。
1:46:16	埋戻度がない施設護岸があって、
1:46:20	土がない状態になってるっていうことで、
1:46:23	ですよ。
1:46:24	これも強いこの施設護岸が地震によって損傷した場合は、
1:46:29	多分、②、これ、
1:46:39	7 他の断面で代表できるんですかね、例えば、200 ページを見ると、それが載っていて、
1:46:47	201 ページを見る等、ここが埋まってるような、
1:46:51	断面になって丸 4 段目ですかね、ちょっと下の方の年齢の方の断面が少し違うと思うんですけど、
1:46:58	これで代表できるルー。
1:47:01	とかなというふうにちょっと考えてるんですが、そういうふうに読めばいいのかなと思ってんですけど、中国電力としての考え方だけ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:11	確認させてください。
1:47:23	はい。中国電力ヨシツグです。少しでも確認をさせていただけたらと思います。
1:47:31	③断面、
1:47:34	の、背面のところが崩れて、土が埋まったような状態のときに、他の断面で、
1:47:43	説明が可能なのかどうかとそういったご趣旨でよかったですでしょうか。規制庁の服部ですはいアノて耐震クラスの背面の、
1:47:52	施設が数歩数損壊した時の影響の評価についてということで、今おっしゃった通りです。はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:48:01	はい。その場合はですね、そもそも、①断面等で選んでいるところで、さらに杭の長いところで初めに、土がいる状態で荷重がかかっているものがございますので、
1:48:14	そういったところのもので、さらにその検討ケースで、施設護岸がない状態というのでも検討しておりますので、それらの結果の中に包絡するんじゃないかと思っております。以上です。
1:48:26	はい。規制庁の服部です。①断面って、評価対象断面なってるんですけど。
1:48:32	失礼しました②断面でございますはい。失礼いたしました。
1:48:37	②断面の方で説明ができるということで、そう。
1:48:44	その点についてはわかりました。
1:48:48	220
1:48:51	6 ページをお願いします。
1:48:56	これは事実確認なんですけど、
1:48:59	ここに相対変位って書いてあるんですけど、この相対変位というのは、
1:49:04	被覆コンクリート化担当どことの相対変位なんでしょうか。
1:49:15	中国電力の梶田です。鋼管杭の下端との相対変位になります。以上です。
1:49:21	ごめんなさい皮膚こん
1:49:23	基本クリーとへき下端と、
1:49:28	鋼管杭下端の相対変位ですか。
1:49:34	中国電力の会社です。その通りでございます。
1:49:38	市長の服部です。
1:49:41	それがわかるように、ちょっと記載を、
1:49:44	していただければと思うんですがいかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:50	中国電力の会社です。承知いたしました。ちょっと記載のほうを見直させていただきます。以上です。
1:49:55	規制庁のハツリですはいわかりましたあと最後になります 273 ページお願いします。
1:50:13	規制庁の服部です。ちょっと確認なんですけど、
1:50:16	ここでノー。
1:50:19	評価というのワー
1:50:22	粘性度の評価になると思うんですが、
1:50:27	Cコール 0Φ30。
1:50:29	当Cコール 21.7 とΦ30 の比較をしてるんですけど、
1:50:35	これは、
1:50:37	Cコール 0 とCコウノ 27 点。
1:50:40	1.7 を比較すれば、
1:50:42	ファイルを同じの条件にしてですね。
1:50:44	当然Cを見た方がー
1:50:49	調査値は下がるのは自明なのかな。
1:50:53	とも思っ
1:50:54	ているんですよね。
1:50:56	ちょっとあまりこうや、
1:50:58	てる意味が少しないのかなとっていて、
1:51:00	これってあれですかね。
1:51:02	あくまでも粘性度の評価として、本来年制度って資材でΦ0 にしてCを入れたりすることが一般設計では多いんですけど、
1:51:12	一応ウエイトFLIPとかそういうの
1:51:19	対応としてCゴール 0Φ30 で粘性度を評価してるということですよ。これ市有資材にしたときはどうなのっていうことであれば、
1:51:28	例えばC=21.7 を見るのであればφ=0 として比較しないと、何かこう、比較したことになんないのかなとは思っているんですよ。
1:51:38	もしそのファイルは、このCコウノ 0Φ30 というのが、Φ30 ありきで、保守的にCを 0 としていますっていうのであれば、それはそれでいいんですけど、
1:51:50	そういう時期試験結果があつてですね、であればもう比較する必要もないんですよ保守的なんだから。
1:51:56	なのでちょっとこの非架空の位置付けを踏まえて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:00	少しこうなんでこういう比較をしてるのかなということを確認したいんですがいかがですか。
1:52:08	すいません。中国電力の伊佐です。
1:52:11	今回ですねこちらの検討につきましてはほとんど地盤の支持性能で衛藤。
1:52:17	この粘性土で、もう少しお待ちくださいすいません。
1:52:45	すいません。中国電力の磯です。大変失礼いたしました。
1:52:49	あと、こちらのところの5ポツに埋め戻しのかっこ粘性度の影響検討というところにつきましては、地盤の強い税の方で
1:52:59	先ほど羽鳥さんはおっしゃった通りで江藤医師。
1:53:02	FLIP等の考え方から、年制度なんですけどC=0。
1:53:06	サイクル30という考え方をしているというところでございます。実際の試験結果としましては、通しページ271ページ。
1:53:15	にあります表のところにありますが、実際は椎野アライΦ周りというところがございました。ですので、申請の方のコメントとしては、実現値として申し出て、このコメントとしては、
1:53:28	その影響がないかっていうのは、定量的に確認をして欲しいというコメントいただいたというふうに理解しております。それを踏まえまして今回こういった検討しております、
1:53:39	実際、試験結果を見ますとシーン20平均値ですけども21.7、35ということで、現状今追加で実施した検討ケースと同じような分析になっているというところで、
1:53:54	その次現地に近いようなところで解析、確認ができていのかと思っております。すいません以上になります。
1:54:01	規制庁の服部ですはいわかりましたちょっと私もなんか変なコメントをしたというふうにちょっと認識をしていますけど結果としてはこういうふうに載せていただいたということで理解をしました。
1:54:13	ちなみに、
1:54:16	降灰30ってかなり大きいんですけど、
1:54:20	この制度の試験結果でこんだけのCが出ててφも出てることなんですよねっていう、念のためにちょっと念押しとして事実確認だけさせていただきますたいんですが、いかがですか。
1:54:33	あ、はい。10億円弱ですはい。
1:54:36	その通りでございますはい申請の方ですね3軸圧縮試験の
1:54:41	結果とかを締め付けさせていただいております

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:45	はい。それ、
1:54:46	ちょっとおっしゃる通り少し大きんですが、気もしますがはい。ちゃんと現地出ております。以上です。
1:54:54	規制庁のハットリですはいわかりました。私から以上です。
1:55:00	はい、規制庁の千明です。他、よろしいですか。
1:55:04	はい。中国電力側から何かありますか。
1:55:10	はい。中国電力ヨシツグです特にございません。
1:55:14	はい。それでは午前中のヒアリングの方、これで終了したいと思います。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。